

在宅勤務、男性にも門戸

オリエンタルコンサルタンツは、人材の確保・活用を目的に在宅勤務制度と定年延長を試行する。在宅勤務は来期（2015年9月期）がスタートする10月から実施、定年延長は検討事項が残っているが来期中には始めたい考えだ。会社の魅力アップのために、前期から取り組んでいる「情熱とやりがいプロジェクト」の一環となる。

在宅勤務は、子育て世代の女性技術者が働き続けられる環境づくりを狙いとしているが、女性限定ではなく男性にも制度活用の門戸を開く。設計系業務の場合、顧客など関係者との打ち合わせが多いため在宅は難しいが、計画系業務であれば出社しなくても仕事ができると判断している。

制度の内容は、週に1回出社などと最初から細かく規定せず、試行しながら整えていく。三百田敏夫取締役常務役員統括

就業環境改善で魅力アップ

オリコンサル

本部長は、「試行は数人程度で、1年くらい行つ」方針を明らかにした。

定年延長は、シニア層のモチベーションアップと外部からの優秀なシニア人材採用を主眼としている。同社の定年は60歳で、その後は65歳まで再雇用している。定年延長は給与など処遇面について、再雇用と違い60歳超でも基本的には低下しないことから、働く意欲の持続を期待している。延長を一律に実施するか、再雇用との選択制にするかなどを検討している。

情熱とやりがいプロジェクトは、①社員数の増員②就業環境の改善③品質の確保④業務処理の効率化⑤やりがいづくり・見える化⑥人材育成の強化⑦チームづくり⑧処遇の改善――の8つの施策を総合的に実施する。これによって社員と顧客の満足度を高め、社会貢献することによって魅力ある企業を目指している。

シニア雇用へ定年延長